

令和8年度 庚午未来会議 事業計画書

1 今年度の目標

- (1 事業目) 地域での認知度を高める。また、地域課題のうち、未来に残す地域情報の保存を継続する。
- (2 事業目) ワークショップ開催やカフェとしての利用を通じ拠点利用の促進を図る。
- (3 事業目) 庚午地区体育協会50周年記念事業を支援する。
- (4 事業目) 各団体が各自で行っている行事を一元化運営に移行する。(複数年計画)
- (5 事業目) 中学校及び小学校との連携を図り、提言を行う形を整備する。
- (6 事業目) 整備されたブルーベリー農園でのイベントを行う。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	庚午書庫	(6) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	庚午小学校区	
(3) 参加者数	1000 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 庚午未来会議 innovationA 庚午書庫	
4 取組内容	失われつつある庚午の歴史資料を未来へ残す為、町内に書庫(庚午中央会館2階)を整備した上で、町内会を通して広く地域住民に声を掛け、個人所有の庚午の過去資料を保存する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) デジタル資料の劣化により損失していく記録も多い昨今ではあるが、紙ベースの資料も特に個人所有のものは時代とともに廃棄されてく事が予想される。 これらを地域での書庫整備を行うことにより未来へ残す。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・地域の歴史資料を保存することで、地域史への興味を抱かせる。 ・地域を知る機会損失を防ぐことができるとともに、地域への愛着を深める効果が期待できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	拠点を利用した地域交流（拠点イベント）	(6) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	庚午未来会議事務所	
(3) 参加人数	90 名（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 庚午未来会議	
4 取組内容	拠点を利用したミニイベント・カフェ・ワークショップを企画し、多世代交流を図ると共に拠点利用の促進、認知度向上を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・拠点利用の促進を通じて、庚午未来会議・ひろしま LMO の認知度向上。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・拠点の認識を進めることにより、地域活動の可視化、新たな交流促進が見込まれる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	交流・健康づくり	(6) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日	
(2) 実施場所	庚午小学校グラウンド	
(3) 参加者数	500人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 庚午学区体育協会	
4 取組内容	庚午学区体育協会の50周年記念として開催されるイベント支援。（講演会の予定） 体育協会の取組を支援することでスポーツを通じた地域住人の健康づくりに寄与する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・庚午学区体育協会の活動を支援することで庚午地区のスポーツを通じた交流・健康づくりを図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・イベントを通じて広く活動を広報する事で参加者の増加が期待できる。 ・不足している道具購入等にも充てる事で今後の継続的な活動へつなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	秋季例大祭	(6) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月18日～19日	
(2) 実施場所	庚午小学校区全域	
(3) 参加者数	2000人	
(4) 主催団体	団体名 庚午地区町内会（主管：秋季例大祭実行委員会）	
4 取組内容	・地域の祭りを通じた住民交流促進を図る。 ・元々3つに分かれていた祭りを1つにまとめることで、運営側の負担軽減と来場者の増加を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・各種団体が各自で実施している祭りとなっている現状がある。それらは運営者の減少により徐々に衰退している傾向がある。それらの再活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・多種団体を連携させる事で、無駄を省き効率運営が期待できる。 ・効率運営が内容の劣化となるのではなく、互いに補完することで大きな賑わいに発展させる効果が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	庚午こども議会	(6) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	庚午小学校区	
(3) 参加者数	庚午小学校 庚午中学校 生徒	
(4) 主催団体	団体名 庚午未来会議 innovationA 庚午こども議会	
4 取組内容	前年度実施した庚午中学校生徒によるアンケートの結果を踏まえ、地域の理想像や課題を考えるための活動を行う。参加者の議論を通して意見集約を行い、庚午未来会議にこども議会を実施して意見を上程する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・地域活動に参加する子どもの数が減少する中、自分の住む地域を考えたり、地域課題の調査・議論するという経験を通して、地域に関心を持つ貴重な機会とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・地域として上程される貴重な意見を庚午地区のまちづくりに新たな声を取り入れ、街づくりに生かすと同時に若年層の地域意識を高める事ができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	農作物（ブルーベリー）づくりを通じた地域住民の交流促進事業	(6) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	庚午中2丁目（庚午ブルーベリー農園）	
(3) 参加者数	400人	
(4) 主催団体	団体名 庚午ブルーベリーストーリー（innovationB）	
4 取組内容	ブルーベリー農園を活用して、地域住民へブルーベリー栽培や収穫物の活用に関する協力を呼びかけ、住民交流の活性化を支援する	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域でブルーベリー農園に関わることで、住民同士の交流促進につながり、地域貢献できるような収穫物の活用について共に考えることで、住民参画によるまちづくりを推進する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・前年度、地域で整備した農園の維持費を補助することで、運営担当者の負担を減らし、住民交流に特化した運営が期待できる。 ・ブルーベリーを活用した地域貢献活動を展開することで、地域活性化につながる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		該当なし	